

第3回 (9/27)

基本構想

基本計画

事業手法・事業スキーム

施設整備

運営

整備・管理運営手法

導入機能の基本方針

休憩機能	道路利用者及び地域住民が気軽に立ち寄れ、快適に休憩できるスペースの整備
情報発信機能	道路利用者の安全の確保、及び地域の魅力を発信し、観光周遊の起点となる情報発信の場の整備
地域連携機能	
「食」でつながる機能	那珂市の農畜産物や特産品のPRによるブランド化を推進する施設、及び新規就農を促進する場の提供
「暮らし」でつながる機能	地域住民が日常的に集い、気軽に利用できる施設、及び就業・移住等の支援の場の提供
「体験」でつながる機能	地域外からの来訪者、地域住民、生産者等が集い、体験や多世代交流ができる場の整備
「子育て」でつながる機能	子育て世代の目的地となるような子育てに温かい場の提供
「デジタル」でつながる機能	ICT、IoT、AI等を活用し、多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービス等の提供
交通結節機能	IC周辺の立地やアクセス性を活かした、交通利便性の向上が図れる施設の整備
防災拠点機能	地域防災機能の充実、及び「広域的な防災拠点」としての整備を検討

コンセプト

那珂でつながる 道の駅

基本理念

- IC周辺まちづくりの核となり、県内外の都市との連携・交流促進を図る拠点づくり
- 那珂市の観光資源や特産品等の魅力を発信し、市内回遊につなげる拠点づくり
- 生産者との連携(つながり)により、豊かな農産物や特産品を購入・飲食できる施設として、産業の活性化とブランド価値向上につなげる拠点づくり
- 地域住民が日常的に集い(つながり)、市民の生活利便性につながる場、及び安心・安全を支える拠点づくり
- 次世代につながる子育て応援機能の充実を図り、子育て世代や多世代交流(つながり)を促す拠点づくり
- 持続可能な未来に導く(つなげる)、モノやサービスが情報でつながる拠点づくり

那珂市及び那珂IC周辺地域の課題

- ICを活かした周辺都市又は県内外都市との連携強化/交流促進
- IC周辺に観光地が無く分散/拠点不足
- 防災機能を備えた施設整備の検討
- 自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”
- 県植物園/静峰ふるさと公園等の観光資源の活用
- 観光案内が不十分
- 市民の自発的な活動の支援
- 特産品及び自給的農家が多い
- 農業の担い手の高齢化/後継者不足/収益力向上の推進

立地計画の検討

候補地①-1
「飯田押敷交差点北西側」

インフラ・交通環境

- 那珂IC周辺で4つの候補地を提示
- 各候補について以下の項目を整理
 - ・前面道路の状況
 - ・断面交通量
 - ・上下水/電気のインフラ状況
 - ・市内外からのアクセス性
 - ・法規制の状況(区域区分、農地)

需要予測

導入機能・施設規模の設定

施設の概略設計

概算事業費

整備効果

- ・道の駅設置による効果
- ・地域への波及効果

可能性調査

施設整備

官民の役割分担

施設設計

各種イベント・商品開発

官民連携手法による事業者決定

周辺環境整備・地域振興策の実施

- ・道路管理者との調整
- ・需要調査
- ・ツーリズム

地域との協働・連携(観光地・店舗・サービス等)

地元生産者との関係構築

運営主体の検討・構築(自治体・地域関係団体・民間企業等)

事業モニタリング